

令和5年度 主な事業実績

1 教育旅行等受入体制整備事業

(1) モニターツアー

10周年ユース取組み発表のため

モニターを再度実施した。

月日：令和5年7月18日(火)

協力：学校法人大分中学校

特進クラス2年生21名

実施プログラム：田染荘・鬼会の里

・世界農業遺産旭日プロジェクト

【感想】学校行事に世界農業遺産の体験を絡めていきたい。



モニターの様子

(2) 視察受入

修学旅行やスタディツアーの検討視察

8/2(水)奈良県川上村教育委員会

8/25(金)同志社中学校 副校長

12/11(月)同志社中学校、京都先端科学大学附属中学校

北陸学院中学校、日能研・学習評価研究所

ななつむぎ

七島蘭学舎



学舎視察の様子

【感想】

- ・収穫時期、苗の植え付けに行き、ブランド化などの商品展開など長期スパンで耐えうる材料がたくさんあった。
- ・伝統文化の歴史や継承することの大切さを感じた。

(3) エージェント向け研修会・実踏(体験)会

県内ホテルや県外の旅行会社のエージェントを対象に世界農業遺産の研修会とプログラム体験会を実施した。

〈研修会〉

月日：令和5年12月22日(金)／参加者：20名

内容：林会長による講演

体験プログラムの紹介

〈実踏会〉

月日：令和6年2月13日(火)～14日(水)／参加者：15名

内容：プログラム体験(学舎、GAP等)

(4) GIAHS ガイド育成研修の実施

教育旅行プログラムや体験素材集プログラム実施時の世界農業遺産全般と各体験プログラムの説明ができるガイドを育成するため、研修会を実施した。

〈第1回〉

月日：令和5年10月26日(木)／参加者：5名

内容：世界農業遺産の概要について

鹿鳴越連山ミニトレッキング

〈第2回〉

月日：令和6年1月18日(木)／参加者：11名

内容：生物多様性に関するフィールドワーク

山香での取組

〈第3回〉

月日：令和6年3月7日(木)

内容：田染荘ミニトレッキング

GAPレクチャーため池ウォーク



各研修会の様子

2 魅力発信・販路開拓支援事業

大分県のフラッグシップ「坐来大分」や都市圏の商業施設を活用し、世界農業遺産や地域産品の魅力をPRすることにより、認証品や応援商品の販路開拓・拡大につなげた。また、七島蘭ワークショップでは、推進協議会の林会長と七島蘭工芸作家 岩切氏が講師として参加した。

〈坐来大分メニューフェア〉

日程：令和5年10月2日(月)～10月31日(火)

場所：坐来大分(東京都千代田区有楽町)

使用食材：つや姫・乾しいたけ(国東市)

長命草(豊後高田市)、赤エビ(宇佐市)、

マダコ(姫島村)、日出ポーク(日出町)等

来客数：ランチ504名、ディナー1,441名



世界農業遺産メニューの一例

〈坐来大分 七島蘭ワークショップ〉

日程：令和5年10月14日(土)

場所：坐来大分(東京都千代田区有楽町)

講師：推進協議会 林 浩昭会長、

七島蘭工房ななつむぎ 岩切 千佳氏

参加者：17名



七島蘭ワークショップの様子



林会長による講演の様子

〈世界農業遺産と大分うまいものフェア〉

日程：令和5年10月25日(水)～29日(日)

場所：イオンモール福岡(福岡県糟屋郡粕屋町)

内容：地域ブランド認証品、パンフレット展示



展示ブースの様子

3 広域連携共同事業

世界農業遺産に認定された地域が共同で事業を行い、相乗効果を発揮することで、世界農業遺産の認知度向上や交流人口の拡大、地域製品の販売促進を促すとともに、世界農業遺産の認定効果の更なる向上を図るため、九州の認定地域である熊本・宮崎・大分の3地域共同により「九州 GIAHS フェア」を開催した。

〈九州 GIAHS フェア〉

日程：令和5年9月1日(金)～令和5年9月3日(日)

場所：グランメッセ熊本

(熊本県上益城郡益城町福富 1010)

内容：パネル展示

展示ブースでのPR及びガラポン抽選会



販売の様子



パネル展示の様子

日程：令和5年10月1日(日)

場所：びふれす広場(熊本県熊本市中央区上通町2)

内容：農林水産物や加工品の販売

展示ブースでのPR及びガラポン抽選会



ガラポン抽選会の様子

4 地域活力支援事業

農耕文化の保全・継承や地域づくり活動の促進を図るため、農耕に関する伝統芸能の保存や世界農業遺産を活用した地域の自主的な活動等を行う団体に対して支援を行った。これらの支援を通じて、地域の活動団体との連携を強化するとともに、幅広い情報発信が期待できる。

(採択件数：7件(申請件数：7件))

- ・長岩屋修正鬼会保存会(豊後高田市)
- ・荘園の里推進委員会(豊後高田市)
- ・雅設置プロジェクト 佐田の郷の会(宇佐市)



修正鬼会衣装製作

- ・特定非営利活動法人 Am a R i (宇佐市)
- ・田深まちなかグループ(国東市)
- ・くにさき農産物直売所連絡協議会(国東市)
- ・荒木川流域プロジェクト実行委員会(国東市)

5 認定市町村支援事業

認定市町村による取組の拡大を図るため、世界農業遺産を活用した事業に対する支援を行う。これらにより、市町村のPRと併せた世界農業遺産のPRができ、効果的な周知が図られる。

〈実施内容〉

豊後高田市：世界農業遺産の郷「田染荘小崎地区」の景観保全事業

宇佐市：両合棚田を起点とした地域創生プロジェクト

国東市：世界農業遺産の里国東市の魅力発信と国東半島宇佐世界農業遺産の周知・啓発

姫島村：G I A H S 看板改修

日出町：日出町世界農業遺産周知啓発事業

6 次世代継承教育事業

(1) 小学生向け教材本(マンガ本)の配布

世界農業遺産を分かりやすく勉強し、郷土の持つ魅力に興味関心を持ってもらうため、小学生向け教材本(マンガ本)を認定地域内の全小学校59校の5年生(1,255名)に配布し、各学級で授業を行い、次世代への継承の取組を行った。



(2) 小学生向け作文コンクール

認定地域内の小学校5年生及び6年生を対象に作文コンクールを実施した。入賞作品集は協議会ホームページや教育庁ホームページに掲載予定。

応募点数：21校・141点(入賞6点)

最優秀賞作品：「昔と今」(国東市立富来小学校5年 森 安奈)

(3) 中学校特別授業

地域の自然や伝統文化のすばらしさ等を調査・研究する姿勢や郷土を愛する心を育むため、認定地域内の全中学校23校で、地域の農業従事者や行政関係者などを講師とした特別授業を実施することで、次世代への継承の取組を行った。

(4) 乾しいたけ生産・PR 体験学習

複数年にまたがる乾しいたけ生産の一連の流れを体験し、PR 活動することで、乾しいたけに対する理解を深めてもらうことを目的に令和3年度から実施。令和3年度に乾しいたけの駒打ちを体験した小学生を対象に、乾しいたけのほだ起こし、ほだ木立込み、収穫体験を実施した。

〈国東市立安岐小学校〉

実施者：5年生25名

日 程：令和5年11月1日(水)

〈宇佐市立津房小学校〉

実施者：5年生8名

日 程：令和5年11月7日(火)

〈豊後高田市立田染小学校〉

実施者：5年生8名

日 程：令和5年11月1日(水)

令和5年11月2日(木)



原木を運ぶ様子



学校敷地内にほだ木立込み

7 高校生聞き書き事業

世界農業遺産に認定された郷土の価値、すばらしさを感じてもらうため、認定地域内8校の高校生が、農業従事者などの「地域の名人」を訪ね、その知恵や工夫、思いなどをインタビューして取りまとめる「聞き書き」を平成26年度から継続して実施している。

また、令和4年度に「聞き書き」を実施した生徒による体験発表会を開催し、修了証の授与式を執り行った。

〈令和5年度聞き書き〉

実施者：生徒72名(11校21チーム)、

名人21名(農業、林業、水産業等)

内 容：研修会(2回)、名人へのインタビュー

(2回程度)、文章の書き起こし

作品集の作成・配布



研修会の様子

〈聞き書き発表会(令和4年度聞き書き実施校)〉

日 時：令和5年7月12日(水)13:00~16:00

場 所：宇佐文化会館・ウサノピア 大ホール

参加者：会場参加 約300名、宇佐高校全1年生参加

発表校：

① 幸せといちごとそして阿南さん~明るく楽しい農業のために~

大分県立高田高等学校 普通科

地域の名人：阿南 暢晃 氏〔杵築市／農業(いちご)〕

- ② 夫婦で作る「楽」いちご～私たちの名人は手抜きの名人！？～

大分県立杵築高等学校 普通科

地域の名人：宮園 稔 氏〔国東市／農業(いちご)〕

- ③ 愛される椎茸作り～試行錯誤を重ねて～

大分県立大分舞鶴高等学校 普通科

地域の名人：中野 富司 氏〔国東市／農業(椎茸)〕

- ④ 誰にもまねできない椎茸のうまさ～父から受け継ぐ椎茸栽培～

大分県立別府翔青高等学校 商業科

地域の名人：宮本 浩吉 氏〔国東市／農業(椎茸)〕

- ⑤ 昔ながらの七島藺の良さを身近に未来につなぐ～七島藺の伝統と栽培方法～

大分県立国東高等学校 園芸ビジネス科

地域の名人：諸富 康弘 氏〔国東市／農業(七島藺)〕

- ⑥ 美しい農村景観の中で営む農業～自然環境を利用した安全・安心な農業を目指して～

大分県立日出総合高等学校 農業経営科

地域の名人：小屋 健一 氏〔杵築市／農業(ホオズキ)〕

- ⑦ 持続可能な産業をこれからも～地元の文化、七島藺の未来～

大分県立宇佐高等学校 普通科

地域の名人：姫野 かおり 氏〔杵築市／工芸士(七島藺)〕

- ⑧ 地域のリーダーとして

大分県立宇佐産業科学高等学校 グリーン環境科

地域の名人：久保田 昭廣 氏〔宇佐市／農業(米)〕

- ⑨ 次世代に継ぐ農業への挑戦

大分県立宇佐高等学校 普通科

地域の名人：林 浩昭 氏〔国東市／農林業〕

- ⑩ 石橋を守り続けるために～若者に語り継ぎたいこと～
大分県立安心院高等学校 普通科
地域の名人：岩尾 弘 氏〔宇佐市／石橋保全〕

- ⑪ 姫島のためにできること～アサギマダラを守る～
大分県立大分上野丘高等学校 普通科
地域の名人：大海 重好 氏〔姫島村／アサギマダラ〕



生徒による発表の様子



インタビューの様子

8 大学連携魅力発信事業

別府大学と連携し、世界農業遺産体験学習の単元化や大分農業文化公園と協力したPR活動を行った。学習成果の発表や大学の特色を生かした活動、広報活動を行うことで将来を担う若い世代が世界農業遺産の価値や地域について学び、その魅力を発信した



農林水産祭でのPRの様子

9 農林水産業システムを補完するための調査研究事業

(1) モニタリングの助言事項に基づく調査研究

令和3年度に実施した農林水産省専門家会議によるモニタリングの助言事項に基づく学術的データの補完を図るため、調査研究を実施した。

〈実施内容〉

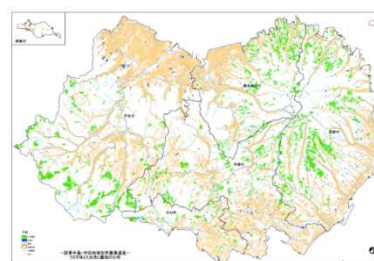
①認定地域における GIAHS 要素の分布調査

- ・マップの作成及び特徴的な河川流域の
生物多様性調査

実施：(一財)日本造園修景協会大分県支部

内容：「クヌギ林とため池がつなぐ農林水産循環」を

具現化する一助として、国東半島宇佐地域
世界農業遺産の武蔵川流域における生物調査結果と
GIAHS 要素との関連性についての考察する。



完成したマップ

また、将来的に武蔵川流域に位置する諸団体が本調査の成果等を活用した活動を行えることを目指す。

対応：助言事項内「(一部抜粋)農林水産業システムを包括的かつコンパクトに表わしている地区等を調査・検証」に対する対応。

(2) 保全・活用のための調査研究

協議会有識者で構成する「国東半島・宇佐 GIAHS 専門家会議」による研究テーマ及び実施方法の決定による調査研究を実施。(3件)

〈実施内容〉

① 本地域における放置里山林の再生をめざす『薬草・薬木図鑑』作成のための連携・協働による実践研究とその応用

実施：NPO 法人 日本森林保健学会 会長 上原 巖

(東京農業大学 森林総合科学科 教授)

内容：地元ネットワークで作成した「本地域対象図鑑 [叩き台]」を基に、専門家集団(日本森林保健学会)の連携・協働研究及び作業により、より正確でかつ応用も利く図鑑にブラッシュアップし本協議会 HP に掲載する。(R6 年度末完成)

国会 HP 完成図鑑を叩き台にして、全国分布の視点により薬草の項目変更、携帯図鑑用編集の見直し等の作業を経て図鑑を発行する。(R7 年度末完成)

② 農業遺産の景観管理と国際的な視点

国東 GIAHS における竹藪管理の現状の課題と今後の可能性

実施：立命館アジア太平洋大学サステイナビリティ観光学部

ヴァファダリ カゼム 教授

内容：国東 GIAHS 景観の活性化に向けて景観の現状分析、竹藪の管理方法や竹の活用方法等について研究する。また、他国の GIAHS 地域がどのように景観保全を図っているかについて調査し、今後どのように国東 GIAHS で実践可能かも検討する。

③ 経済学から見た農村の文化的価値に関する評価-

実施：大分大学経済学部 林 勇貴 准教授

内容：農村の文化や景観などが地域(住民)に与える価値を評価する方法を確立し、評価システム構築のための一助とする。

国東市又は豊後高田市を事例として、価値評価に向けた調査研究を行う。

10 デジタルマーケティング推進事業

県内若年層の認知度向上を図るため、ターゲット世代がよく利用するSNS（Instagram）を活用した情報発信を行う。

(1) 定期的な情報発信による Instagram アカウントの育成

世界農業遺産に関連する情報を月 10 本投稿することにより、協議会 Instagram を見応えのあるアカウントに育成していく

(2) 広告動画の制作

インフルエンサーを起用してインパクトのある広告動画を制作する

(3) 広告の配信

配信先をターゲットに合うようにコントロールして広告配信を行い、(1)で育成したアカウントへ誘導し、認知度向上及びファン化を図る

実績：フォロワー数 360 人 → 880 人（520 人増）

広告動画視聴回数 6,170 回再生



投稿例

広告動画

11 情報発信事業

(1) 各種イベントでの PR

アクロス福岡の展示企画や大分トリニータホームゲーム、大分県農林水産祭等の機会を捉えて、パネル展示やパンフレット配布、七島蘭ミサンガづくりのワークショップを行い、世界農業遺産の PR を行った。

〈アクロス福岡の展示企画出展〉

日程：令和 5 年 7 月 31 日(月)～令和 5 年 8 月 6 日(日)

場所：アクロス福岡 1 階コミュニケーションエリア

実績：SNS フォトコンテスト入賞作品展示、PR グッズの配布

七島蘭ミサンガづくりワークショップ体験人数 318 名

ワークショップ講師：七島蘭工房ななつむぎ 岩切 千佳氏



展示・ワークショップの様子

〈大分トリニータホームゲームブース出展〉

日程：令和 5 年 7 月 9 日(日)

場所：レゾナックドーム大分(大分市横尾 1351)

実績：七島蘭ミサンガづくりワーク

ショップ体験人数 200 名

ワークショップ講師：七島蘭工房ななつむぎ 岩切 千佳氏



七島蘭ミサンガワークショップの様子

〈大分県農林水産祭おおいたみのりフェスタ出展〉

日程：令和5年10月21日(土)～令和5年10月22日(日)

場所：別府公園(別府市野口原)

実績：SNS フォトコンテスト入賞作品展示

PR グッズの配布、七島藺織機の実演

協力：くにさき七島藺振興会



出展の様子

12 10周年記念事業

国東半島宇佐地域が世界農業遺産に認定されてから10年が経過し、認定地域への交流人口の拡大等を図るためにも認知度を高めていく必要があることから、10周年記念シンポジウムを開催した。世界農業遺産のPRと魅力発信を行うことにより、今後5年後、10年後に向けて機運醸成を図った。

〈世界農業遺産認定10周年記念シンポジウム〉

日程：令和5年11月21日(火)～令和5年11月22日(水)

場所：アストくにさき(国東市国東町鶴川160-2)

参加者：573名

・記念講演

演題「持続可能な地域づくりを目指す農業遺産」

講師：公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) 理事長 武内 和彦氏

・パネルディスカッション1

テーマ「国東半島宇佐地域の活性化」

コーディネーター：総合地球環境学研究所 教授 阿部 健一氏

パネリスト：認定地域内で地域の活性化に取り組まれている生産者・関係者等

・基調講演

演題「世界農業遺産：今後の地域活性化と、それに向けた国際連携戦略を考える」

講師：東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 八木 信行氏

・パネルディスカッション2

テーマ「世界農業遺産を未来の世代に繋ぐ」

コーディネーター：東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 香坂 玲氏

パネリスト：認定地域内で次世代継承活動に取り組まれている生産者・関係者等

・ユース取組発表

発表者：豊後高田市立田染小学校、宇佐市立津房小学校、杵築市立大田小学校
豊後高田市立高田中学校、大分中学校



ポスター

・聞き書きユースセッション

コーディネーター：NPO 法人共存の森ネットワーク 事務局長 吉野 奈保子氏
 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 八木 信行氏
 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 香坂 玲氏
 参加者：国東高等学校、宇佐高等学校、大分上野丘高等学校



パンフレット

13 その他

(1) 第7回東アジア農業遺産学会

日中韓で設立された学术交流と農業遺産認定地域の交流を目的とする学会。研究者のみならず、農業遺産認定地域の地方自治体の行政担当者や農業者など参加

〈日程〉令和5年6月4日～6月8日

〈場所〉中国 浙江省 麗水市 慶元県



開催地郡長歓迎あいさつ

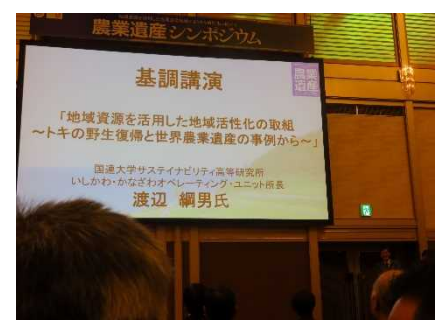
(2) 他県の認定地域行事への参加

〈阿蘇地域世界農業遺産認定10周年記念シンポジウム〉

熊本県阿蘇市で「阿蘇地域」認定10周年記念シンポジウムが開催された。当地域認定10周年に向けた取組について情報収集を図った。

日程：令和5年10月12日(木)～13日(金)

場所：阿蘇の司ビラパークホテル&スパリゾート



基調講演

〈世界農業遺産「静岡の茶草場農法」認定10周年記念式典〉
静岡県掛川市で「茶草場農法」認定10周年記念シンポジウム
が開催された。当地域認定10周年に向けた取組について
情報収集を図った。

日程：令和5年10月20日(金)～21日(土)

場所：掛川グランドホテル



取組発表

〈石川県能登地域「農業遺産シンポジウム」〉

石川県七尾市で農業遺産シンポジウムが開催された。

当地域認定10周年に向けた取組について
情報収集を図った。

日程：令和5年11月10日(金)～11日(土)

場所：和倉温泉「あえの風」



パネルディスカッション

(3) 韓国視察対応

韓国江原道横城郡より農業や観光関係の行政職員計10名が
視察に来られ、国東半島宇佐地域 GIAHS について説明した。

日程：令和5年12月19日(火)

場所：県庁舎新館会議室



説明している様子

(4) ななつ星

JR九州が運行するクルーズトレイン「ななつ星 in
九州」の雲仙コース(3泊4日)にて、4日目金曜日に
世界農業遺産探訪エクスカージョンが実施された。
杵築駅での停車中、車内では七島藺WS、ホームで
マルシェを開催。

計19回

9月～12月 田染荘ミニトレッキング、富貴寺瞑想体験

1月～2月 しいたけ、茶の湯炭体験



ななつ星マルシェの様子